

DERWENT-ACC-NO: 2000-227701

DERWENT-WEEK: 200020

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Bedding drying system in bathrooms, has
ultraviolet lamp installed adjacent to ventilation drier
provided to ceiling wall for heating air drawn from outside
and circulating hot air inside bathroom

PATENT-ASSIGNEE: BRIDGESTONE CORP[BRID]

PRIORITY-DATA: 1998JP-0213254 (July 28, 1998)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	MAIN-IPC	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES JP 2000046466 A 003	MAIN-IPC F26B 009/02	February 18, 2000	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE JP2000046466A July 28, 1998	N/A	1998JP-0213254

INT-CL (IPC): A61L002/10, D06F058/10, E04H001/12, F24D005/02,
F24D015/02, F26B009/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000046466A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - An inlet and warm air outlet are installed to ceiling wall of
bathroom to intake air and exhaust hot air generated by spraying
water on
bedding during washing. A ventilation drier is provided to heat air
drawn into
room through inlet. An ultraviolet lamp provided adjacent to drier
irradiates
ultraviolet rays on bedding.

USE - For drying bedding inside bathrooms.

ADVANTAGE - Since drying of bedding inside bathroom is made possible, practicality is high.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the profile of bedding drying system in bathroom.

Bathtub 1

Washing place 2

Sidewall 3

Ceiling wall 4

Door 5

Warm air outlet 11

Inlet 12

Ventilation drier 13

Ultraviolet lamp 15

Switch means 16

Control board 17

Bedding 20

Pole 21

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/1

DERWENT-CLASS: F07 P34 Q46 Q74 Q76 X27

CPI-CODES: F03-J01; F04-D01;

EPI-CODES: X27-D02;

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-46466

(P2000-46466A)

(43)公開日 平成12年2月18日 (2000.2.18)

(51)Int.Cl.⁷

F 26 B 9/02
A 61 L 2/10
D 06 F 58/10
E 04 H 1/12
// F 24 D 5/02

識別記号

3 0 1

F I

F 26 B 9/02
A 61 L 2/10
D 06 F 58/10
E 04 H 1/12
F 24 D 5/02

テマコード(参考)

A 2 E 025
3 L 071
A 3 L 072
3 0 1 3 L 113
A 4 C 058

審査請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 3 頁) 最終頁に統く

(21)出願番号 特願平10-213254

(71)出願人 000005278

株式会社ブリヂストン

東京都中央区京橋1丁目10番1号

(22)出願日 平成10年7月28日 (1998.7.28)

(72)発明者 山川 正文

東京都東村山市富士見町1-12-2

(74)代理人 100086896

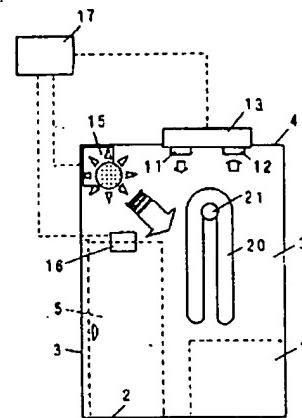
弁理士 鈴木 悅郎

(54)【発明の名称】 布団乾燥を可能としたバスルームシステム

(57)【要約】

【課題】本発明はバスルームの換気乾燥器を利用し、布団乾燥を可能としたバスルームシステムを提供するものである。

【解決手段】浴槽と洗い場とを備えたバスルームにおいて、温風吹出手段と、吸気手段と、バスルーム内の空気を加温して循環させる換気乾燥手段と、を備えてなり、更に紫外線発生機構を併置したことを特徴とする布団乾燥を可能としたバスルームシステム。1…浴槽、2…洗い場、3…側壁、4…天井壁、5…ドア、11…温風吹出口、12…吸気口、13…換気乾燥器、15…紫外線灯、16…スイッチ手段、17…コントロール盤、20…布団、21…ポール。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 浴槽と洗い場とを備えたバスルームにおいて、温風吹出手段と、吸気手段と、バスルーム内の空気を加温して循環させる換気乾燥手段と、を備えてなり、更に紫外線発生機構を併置したことを特徴とする布団乾燥を可能としたバスルームシステム。

【請求項2】 バスルームのドアに紫外線発生を遮断するインターロック機構を備えた請求項第1項記載の布団乾燥を可能としたバスルームシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はバスルームの換気乾燥器を利用し、布団乾燥を可能としたバスルームシステムを提供するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、マンション等の集合住宅のみならず戸建住宅にあってもいわゆるユニットバスルームが広く使用されており、このバスルームに換気乾燥手段を備えて洗濯物を乾燥させるシステムが広まっている。かかるバスルームにあっては天井プレートより温風吹出口と吸気口を備え、洗濯物に温風を吹き付けると共に湿気の高くなった空気をバスルームより吸気して浴室外へ排気するものであり、これを繰り返すことによって乾燥させるものである。

【0003】一方、梅雨時期や真冬時にあっては屋外で布団を干すことはできない。このため寝室等において敷布団と掛布団の間に熱風を送る布団乾燥器が存在するが、布団内側のみの乾燥等で終わるため充分乾燥できるとは言えず、更に紫外線による殺菌効果もない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記のような従来の技術に鑑みてなされたものであり、梅雨時でも真冬でも敷布団や掛布団を乾燥することができるバスルームシステムを提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は以上の課題を達成するためになされたものであって、その要旨は、浴槽と洗い場とを備えたバスルームにおいて、温風吹出手段と、吸気手段と、バスルーム内の空気を加温して循環させる換気乾燥手段と、を備えてなり、更に紫外線発生機構を併置したことを特徴とする布団乾燥を可能としたバスルームシステムであって、好ましくは、バスルームのドアに紫外線発生を遮断するインターロック機構を備えたシステムである。

【0006】

【発明の実施の形態】本発明のバスルームシステムは以上の機構を備えたものであり、通常の洗濯物の乾燥は勿論のこと、各種の布団の乾燥及び殺菌も完全に行うことができるようになったものであり、好ましくはバスルームへの出入ドアに紫外線を直視しないインターロックを

10

かけておくのがよく、安全性をも高めたものである。

【0007】

【実施例】以下、本発明のバスルームシステムをユニットバスルームをもって更に説明する。図1は本発明のバスルームシステムの概要を示す図であり、符号1は浴槽、2は洗い場であり、これらを側壁3、天井壁4にて区画してユニットバスルームを構成し、側壁3には出入用のドアが備えられており、これらは不飽和ポリエステル樹脂にガラス繊維を配合したFRP製のパネルよりなっている。

【0008】さて、符号21は洗濯物吊下用ポールであり、これは対向する側壁3に備えた受座(図示せず)上に嵌め込まれており、これに布団20を掛けることになる。そして天井壁4に温風吹出口11と吸気口12とを備え、ユニットバスルーム内へ温風を供給し、一方、湿度の高くなった空気を吸きしようとするものである。これら空気の循環は換気乾燥器13にて循環されるものである。

【0009】そして、この天井壁の浴槽側に温風吹出口11と吸気口12とを備えた換気乾燥器8が設置されており、温風吹出口11からの加温された空気が供給され、浴室内にて水分を吸って湿度を増し、この空気を吸気口12より吸い込んでこれを浴室外に排気されるものである。即ち、通常は吸気口12にて取り入れた空気の一部が、循環ファンを介してヒーターにて加温されて浴室内に循環される一方、吸気口12にて取り入れた空気の他の部分は換気ファンによって排気されて浴槽側の湿度が順次減少する構造となっている。

【0010】そして、特徴的には布団を乾燥するに際しては殺菌作用を付与するためにユニットバスルーム内に紫外線灯15を点灯するものである。このため、ポール21に掛けられた布団は乾燥されると共にダニ等の殺菌が行われることとなる。

【0011】好ましくはドアにはこの紫外線灯15を消すためのスイッチ手段16を備えるのがよく、このスイッチ手段16によって入がユニットバスルーム内に入る場合に紫外線灯が自動的に消えるようにするものが多い。

【0012】尚、換気乾燥器13及び紫外線灯15のON/OFFはユニットバスルーム外に備えるコントローラ盤17によって行うものであり、換気乾燥器13及び起動することによりバスルームへの温風供給、吸気、除湿、空気の加熱が行われ、紫外線灯15を起動することによって殺菌作用をもたらすものである。

【0013】

【発明の効果】本発明は以上の構成を有する布団乾燥を可能としたバスルームシステムであって、従来不可能であった布団の乾燥・殺菌を簡単に行えることとなつたもので、その実用性は高い。

【図面の簡単な説明】

50

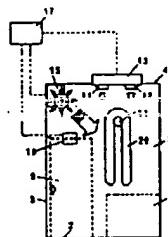
【図1】図1は本発明のバスルームシステムの概要を示す図である。

【符号の説明】

- 1··浴槽、
- 2··洗い場、
- 3··側壁、
- 4··天井壁、
- 5··ドア、

- 11··温風吹出口、
- 12··吸気口、
- 13··換気乾燥器、
- 15··紫外線灯、
- 16··スイッチ手段、
- 17··コントロール盤、
- 20··布団、
- 21··ポール。

【図1】



フロントページの続き

(51) Int.C1.⁷

識別記号

F I

テーマコード(参考)

)

F 24 D 15/02

F 24 D 15/02

B 4L019

Fターム(参考) 2E025 BA03 BC05

3L071 AA02 AB03 AC02 AD05 AE05

AF01 AF03 AG01

3L072 AA02 AA06 AB06 AC02 AD14

AD16 AE06 AF01 AG07

3L113 AA01 AB06 AC08 AC11 AC25

AC45 AC46 AC48 AC49 AC51

AC57 AC63 AC67 AC72 AC73

AC75 AC76 AC85 BA11 BA12

BA14 DA01 DA21 DA30

4C058 AA03 BB04 BB06 CC07 DD16

EE01 EE26 KK02 KK12

4L019 BA03